

2019年3月28日

## 原料費調整制度に基づく2019年5月検針分のガス料金について (東京地区等)

東京ガス株式会社  
広報部

東京ガス株式会社は、「原料費調整制度」に基づき、2019年5月検針分の単位料金を、2019年4月検針分と比べ、1m<sup>3</sup>(45MJ)につき0.7円(消費税込)下方に調整いたします。

今回の調整は、2018年12月～2019年2月の平均原料価格に基づくものです。

これにより、1か月に30m<sup>3</sup>のガスをお使いになる標準家庭で2019年4月検針分と比較して、21円(消費税込)ガス料金が下がります。

2019年5月検針分に適用するガス料金については、当社ホームページ等であらかじめお知らせいたします。

### 1. 一般契約料金

各月のご使用量に応じてA～Fの各料金が適用されます。

(消費税込)

1か月の ご使用量	料金表A 0～20m <sup>3</sup>	料金表B 21～80m <sup>3</sup>	料金表C 81～200m <sup>3</sup>	料金表D 201～500m <sup>3</sup>	料金表E 501～800m <sup>3</sup>	料金表F 801m <sup>3</sup> ～
基本料金 (円/月)	745.20	1,036.80	1,209.60	1,857.60	6,177.60	12,225.60
調整単位料金 (円/m <sup>3</sup> )	148.25	133.67	131.51	128.27	119.63	112.07
(参考) 4月 調整単位料金	148.95	134.37	132.21	128.97	120.33	112.77

### 2. 標準家庭における影響

(消費税込)

1か月のご使用量 30m <sup>3</sup> (45MJ/m <sup>3</sup> )	2019年 4月	2019年 5月	増減
適用料金(円/月)	5,067	5,046	▲ 21

- 標準家庭ガス料金は、ご家庭1件の1か月あたりの平均使用量(2012年度～2016年度の5か年平均)に基づき算定しています。
- 口座振替割引をご契約している場合の標準家庭ガス料金は、上記適用料金から54円(消費税込)を抜いた金額となります。

### 3. 原料価格の変動

(円/t)

	2018年11月～2019年1月 の平均 (4月検針分)	2018年12月～2019年2月 の平均 (5月検針分)	対前期 差額
平均原料価格(a)	64,460	63,740	▲ 720
LNG	64,460	64,090	▲ 370
LPG	61,530	54,830	▲ 6,700
基準平均原料価格(b)	57,250		
差額(a-b)	7,200	6,400	▲ 800

- ・ LNG価格、LPG価格はともに貿易統計値。
- ・ 平均原料価格と基準平均原料価格との差額(a-b)は100円未満切捨て。

### 4. 単位料金調整額の算定方法

#### <原料価格の変動による単位料金調整額の算定>

##### ■ 平均原料価格の算定

$$\begin{aligned} & \text{LNG平均原料価格(貿易統計値)} \quad \boxed{64,090} \times 0.9479 \\ & + \text{LPG平均原料価格(貿易統計値)} \quad \boxed{54,830} \times 0.0546 \end{aligned}$$

$\boxed{63,744.62}$

↓(10円未満四捨五入)

$\boxed{63,740}$  円/t

##### ■ 原料価格変動額の算定

$$\begin{aligned} \boxed{63,740} \text{ 円/t} - \boxed{57,250} \text{ 円/t} &= \boxed{6,490} \text{ 円/t} \\ &\downarrow(100円未満切捨て) \\ &\boxed{6,400} \text{ 円/t} \end{aligned}$$

##### ■ 単位料金調整額(m<sup>3</sup>あたり調整額)の算定

$$\begin{aligned} \text{単位料金調整額} &= \boxed{6,400} \text{ 円} / 100 \text{円} \times 0.08748^{*1} \\ &= \boxed{5.59} \text{ 円}^{*2} \end{aligned}$$

\*1 変動額100円につき単位料金を0.08748(0.081×1.08)円調整します。

\*2 調整額がプラスの時は少数点第3位以下を切り捨て、マイナスの時は少数点第3位以下を切り上げます。

#### <標準家庭における影響>

(消費税込)

1ヵ月のご使用量 30m <sup>3</sup> (45MJ/m <sup>3</sup> )	2019年 4月	2019年 5月	増減
適用料金(円/月)	5,067	5,046	▲ 21

#### ・ 標準家庭料金の計算方法

東京地区等

$$\begin{aligned} \text{本体料金(税込)} &= \text{基本料金(1,036.80円)} \\ &+ \text{調整単位料金(128.08円} + \boxed{5.59} \text{円)} \times 30\text{m}^3 \\ &\quad \text{料金改定時の基準単位料金(税込) \uparrow} \quad \text{\uparrow 単位料金調整額(税込)} \end{aligned}$$

・ 本体料金は小数点以下切捨て

#### [参考]

##### 原料費調整制度の概要

- ・ 為替レートや原油価格の変動等による原料価格の変動に応じて、毎月ガス料金の単位料金（ガス1m<sup>3</sup>あたりの単価）を調整する制度です。
- ・ 「基準平均原料価格（57,250円/t）」と「平均原料価格（料金適用月の5ヵ月前から3ヵ月前の3ヵ月平均におけるLNG、LPGの輸入価格より算定）」との差額に基づいて、原料価格の変動100円につき、ガス1m<sup>3</sup>あたり0.08748円（0.081円に1.08（消費税）を乗じた値）単位料金を調整いたします。
- ・ 原料価格の変動については、LNG、LPGとも貿易統計実績によります。
- ・ 料金の大幅な上昇を避けるため、「平均原料価格」が91,600円（上限値）を超えた場合には、「平均原料価格」は91,600円としてガス料金の調整を行います。